

身体活動を促す都市環境とは？

近年、公衆衛生分野から都市計画・まちづくりへの期待が高まっています。生活習慣病の発症予防のため、各国で目標値を定めて身体活動を推奨していますが、個人に対する働きかけには限界があり、都市環境を変えること（例えば公園や公共交通整備など）で身体活動を促そうという期待です。

日本では公衆衛生と都市計画との連携事例はほとんど見られませんが、海外に目を向けると、自治体がデザインガイドを策定し、身体活動を促す都市デザイン戦略を進める例もあります（例えばニューヨーク市 “Active Design Guidelines”）。

この輪講では、英米と並びこうした取り組みで先進的なオーストラリアの各種指針（右図 “Healthy Active by Design” など）や、その背景にある研究論文、報告などの輪読を行います。輪読を通じて、都市環境と身体活動との関係に関する知識を習得し、日本の都市計画・まちづくりへの示唆を得ることを目的とします。



4 月

- ・本輪講の目標を設定

5 月

- ・講義（千葉大学・花里真道准教授、New South Wales 大学・Susan Thompson 教授）

6, 7 月：

- ・オーストラリアにおける関連指針、研究論文、報告等の輪読
- ・日本への適用可能性の検討

対象： 学部3年～大学院
担当： 樋野公宏（都市工学専攻准教授）
日時： 初回の相談により決定
会場： 工学部 14 号館 806 号室を予定

☆関心のある学生は hino@ua.t.u-tokyo.ac.jp（樋野）まで